

JR連合国会議員懇談会会長

榛葉賀津也参議院議員が代表質問

1月31日、JR連合国会議員懇談会会長・榛葉賀津也参議院議員が代表質問に登壇し、その中で災害対策と鉄道の安全基盤の確保について述べられました。

※鉄道貨物についても述べられています。



(インターネットから引用)

(代表質問抜粋)
自然災害への対応について伺います。「平成30年7月豪雨」をはじめ、昨年は大規模自然災害が相次いで発生しましたが、世界規模の気候変動に伴い、今後はこのような激甚災害の発生が常態化する可能性があります。

道路、港湾、河川、電力や情報通信施設など多くの都市基盤が甚大な被害に遭いましたが、中でも、障害者や学生、老年寄りや通勤者など“庶民の足”である鉄道の被害は、全国の広範囲の路線に及び、長期間の運休も余儀なくされました。道路や港湾、空港と異なり被災した鉄道施設の復旧は原則的に鉄道事業者が行います。鉄道基盤の復旧工事費に加え、人流においてはバスの代行輸送、鉄道貨物などの物流においては、迂回列車やトラック・船舶の代替輸送が実施されるなど、公共交通を担う各社にとって大きな負担となりました。加えて、何よりも公共交通を利用するユーザーや荷主の方々には大きな負担とご不便を強いたことや、この数年で東京オリンピック・パラリンピックなどに伴うインバウンドの急増等を考

えると、国として災害時の危険予測箇所を事前にチェックし、安全対策を講じることが防災・減災上、重要です。

公共事業費における鉄道関係予算の占める割合は全体の17%、1001億円のみです。安全基盤の確立のための予算を確保すると共に、点検・予防を徹底することで、災害に負けない交通基盤を確立すべきと思いますが、総理の決意をお伺いします。

JR連合東海地方協議会 2019春季生活闘争勝利討論集会



尾内議長

2月8日、JR東海ユニオン会議室に於いて、JR連合東海協議会2019春季生活闘争勝利討論

集会が開催されました。

討論集会は、小倉事務局長（JR東海ユニオン）の司会進行で進められ、榎副議長（貨物鉄産労）の開会の挨拶、主催者を代表して尾内議長（JR東海ユニオン）より、①2019春闘の課題、②安全の確立、③民主化闘争完遂に向けた取り組みについて、④産業政策実現に向けた取り組みについて、⑤統一地方選挙及び第25回参議院議員選挙について挨拶がありました。つづいて来賓として、河村JR連合事務局長、石黒中部交通労協事務局長（私鉄総連）、お忙しい中「とんぼ返り」で出席頂いた榛葉参議院議員（JR連合国会議員懇談会）よりご挨拶を頂きました。

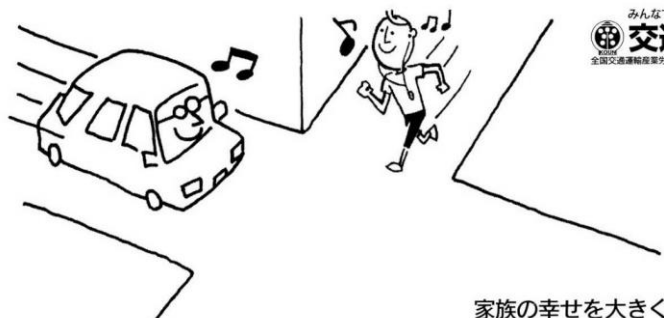
その後、河村事務局長より、2019春季生活闘争をはじめとするJR連合の課題と方針について問題提起を受け、各単組による決意表明に移りました。



奥田執行委員

予測できない事故・病気。 頼りになるのは大きな保障。

交通災害共済は、交通事故だけでなく、駅構内や航空機等の改札口内の事故や道路通行中の建造物の倒壊、物の落下による事故まで幅広く保障。生命共済と入院共済も、セットで心強さが倍増します。



みんなで暮らしをガード
交通共済
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合

家族の幸せを大きくサポート

交通災害共済/生命共済/入院共済

契約引受団体：明治安田生命保険相互会社

健康な人も、
自然災害は
防ぎようがない。



みんなて暮らしをガード
交運共済
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合

家族の幸せを災害から守る
**火災共済/地震風水害共済/
交通災害共済/生命共済/入院共済**

契約引受団体：明治安田生命保険相互会社

決意表明では、貨物鉄産労東海地区本部を代表して奥田地区本部執行副委員長が、貨物会社を取り巻く状況、貨物民主化の取り組みと2019春闘の取り組みについて元氣よく決意表明を行いました。

各単組による決意表明終了後、寺西常任（JR東海バスユニオン）が集会アピールを朗読し全体の拍手で確認されました。その後、河原常任（東海交通事業）より閉会の挨拶があり、最後に尾内議長による「団結ガンバロー」で2019春季生活闘争勝利討論集会は成功裏に終了しました。

交運共済

2018年度加盟組織代表者会議

1月28日、名古屋市「ザグランクルール」において交運共済東海事業本部の「2018年度加盟代表者会議が開催されました。貨物鉄産労からは榎執行委員長が出席しました。



第31回

東海地区本部委員会を開催

2月16日（土）、稲沢市内において、第31回地区本部委員会が開催されました。委員会は、永井執行委員の開会の挨拶で始まり、富田副委員長を議長に選出し議事が進められました。つづいて、地区本部を代表して榎委員長からは、貨物会社と私たちを取り巻く状況について報告すると共に今後の課題について考え方を述べました。

つづいて、来賓として、尾内JR連合東海地協議長、菅沼交運共済本部長、脇崎同推進部長、石原同係長、辻村本部書記長より、ご挨拶を頂き、橋爪委員より経過報告、奥田副委員長より当面する活動方針が提案され質疑に入りしました。

質疑終了後、取り組みの経過と活動方針について満場の拍手で承認されました。

つづいて、新井執行委員より委員会宣言が朗読され満場の拍手で採択し、柴田執行員の閉会の挨拶、榎委員長による「団結がんばろう」で第31回地区本部委員会が終了しました。



榎委員長 団結ガンバロー

JR西日本管内で

協力会社社員

死亡労災が発生

発生日時：2019年2月19日 11:00頃

発生箇所：関西本線 加太駅駅前広場

概要：要：亀山鉄道部より、樹木伐採の依頼があったため、事前確認のため現地（加太駅）へ向かった。作業車を駐車し降車後、作業車が後進したため、作業員が止めようとしたが、制止せずトラックと電柱間に挟まれた。

原 因：作業車から降車した際にニュートラル状態でサイドブレーキを扱わなかったため。

7月のJR連合定期大会以降、5件目となります。

貨物会社では、1月13日、札幌貨物ターミナル駅構内で一歩間違えれば人命に関わる危険事象が発生しています。業務においては安全最優先でお願いいたします。

新しい人事制度についての説明会が各職場で開かれていると思います。聞きたいことがありますしたら、各地区本部役員・本部役員にお尋ねください。

日本人の寿命は延びても、
病気や事故はなくなりません。

どんな事故に遭うか、いつ病気になるか、誰にでも予測はできません。その時になってあわてないように、しっかりしたガードが大切。それが家族への責任です。



家族の幸せを大きくサポート
交通災害共済/生命共済/入院共済

契約引受団体：明治安田生命保険相互会社